



# クローバー通信

# 第164号



令和2年11月10日発行

〈医療法人社団 佐々木クリニック 介護老人保健施設 クローバー〉

〒191-0054

日野市東平山 3-1-1

☎042-585-8061

## 【 新型コロナとの長期戦です、がんばりましょう 】



日に日に、寒くなってまいりましたが、お変わりなくお過ごしのことと存じます。秋も深まり、暖房が必要な日も出てきました。一方、新型コロナの世界的な流行に圧倒され、外にも出られず、紅葉を楽しむ余裕もないのが本音のところでは。

当施設の周り、ふれあいファームでは、蕎麦が白い花をつけています。この収穫後には、ピオウなどの楽しい花を植え込んで、利用者の皆さんに楽しんでいただきます。ひよこハウスの保育園児は、サツマイモ掘りで、収穫の季節を迎えました。また園庭ひよこファームでは、スモモが終わり、柚子の木にたくさんの実が付いています。

相変わらず、新型コロナの流行が衰えを見せず、感染予防のために制限の多い生活をお願いして、心苦しいのですが、切にご理解いただきたく存じます。

今回の世界的な大流行は、100年前のスペイン風邪以来ですが、世界経済のグローバル化で経済的な打撃も半端ではありません。貨幣でつながった世界の国々は、コロナの脅威だけでなく、不況への対策も必要になってきています。

国と国の関係が、また不況下で人と人の関係も厳しくなっていく時代だからこそ、これからは、人と人のつながりを見直し、大切にし、お互いに融通し、支え合って生きていくことが求められていると思います。

また少子化が進み、人口が減少し、高齢化がさらに進む社会では、新しい地域づくり、新しい人間関係づくりにも知恵を絞り、工夫するしかありません。

貨幣が中心になって、ヒトやモノを動かしていた社会が、大きく変わる時には、介護のあり方も問われていくことになりそうです。

時代が大きく動いていく今後、利用者の皆さんの生活を丁寧に見つめ、お手伝いをしながら、ご家族の皆さんの変わらぬご協力をいただき、いい施設を目指してがんばっていきたいと考えます。

今月もよろしくお願ひ申し上げます。

佐々木 榮一

